

藝文協だより

第241号

平成29年1月
〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
県教育文化会館内
☎(076)441-8635(内線123)

撮影：北日本新聞社



青柳志郎氏揮毫の書をプレゼント



南極大陸世界初公演 劇団文芸座 ユニオングレーシャーにて公演

12月19日(月)に南極大陸ユニオングレーシャー基地で劇団文芸座が「結婚の申し込み」を上演しました。文芸座から、小泉博代表、小泉邦子氏、谷井美夫氏、舟本幸人氏が参加しました。当日は基地のテント内にて、現地スタッフや冒険家等を前に南極での初の演劇が披露されました。

上演作品は「結婚の申し込み」で、アントン・チェーホフの作品を基に、伊賀山昌三が日本風に翻案したものです。文芸座の重要なレパートリーの一つであり、これまで海外17カ国で公演実績があります。小泉代表が演出を手がけ、村娘とみえの父親・番助役を舟本幸人氏、とみえ役を小泉邦子氏、とみえに求婚する鳶吉役を谷井美夫氏が演じました。

日本語のセリフは分からずとも万人に通じる共感を呼び、観客は息をのみ作品を観ていました。声のトーンや表情を巧みに使い分ける演技は迫力満点で、衝撃の結末を迎えた直後、観客から盛大な拍手が送られました。派遣の模様は同行した寺田幹北日本新聞社文化部長によって逐一富山に伝えられ、このことも世界に類のないことでしょう。

公演に先立ち、12月17日(土)には南極への玄関口であるチリのプンタ・アレナスにてプレ公演を行いました。また、同日同時刻に、ハンガリーの劇団プレイヤーズ・スタジオ・デブレツェンが、文芸座を応援しようと、ハンガリーで「結婚の申し込み」を上演しました。南極の地に富山からはるばる芸術文化を運んできた事への驚きと感謝の声があふぎがっていました。

第39回富山県子どもフェスティバル

第39回富山県子どもフェスティバルの展示を平成28年11月26日(土)～28日(月)に富山県民会館で開催しました。展示部門では、児童画465点、書755点、写真14点、童画14点の応募があり、子どもたちの意欲あふれる作品を会場いっぱいに展示しました。文芸部門には、創作童話10点、詩33点、短歌214点、俳句720点、川柳18点の応募がありました。



富山新聞社の宮本佐智夫代表、ベルギー・ハウスパラシュ代表のアスチェンス・ジャック氏らによる開会式でのテープカット

海外からの特別展示として、ハンガリーのハイドゥナーハール県とハイドゥナーナールシユ、中国の遼寧省と上海、韓国の江原道、ロシアの沿海地方、アメリカのオレゴン州、ブラジルのサンパウロ州の子どものたちの児童画130点と、オーストラリアやポーランドから寄せられた児童画7点もあわせ、計8か国137点の児童画を展示しました。また、ハンガリーのハイドゥナーナールシユ、韓国の江原道、オーストラリア、ベルギー、アメリカの



海外からの特別展示

子どもたちからは創作童話16作品が特別に寄せられました。さらにアメリカのオレゴン州からは富山県の姉妹州として壁画がプレゼントされ、会場展示しました。平成28年11月27日(日)に富山県教育文化会館で行った展示部門では、県内15団体の子どもたちによる多彩な演目が披露されました。子どもたちは日頃の練習の成果を思う存分発揮し、若さ溢れるステージが展開されました。今年の特別公演は、ベルギーのハウスパラシュによる『アモール』―愛を



アメリカ・オレゴン州から届いた壁画

探す小さな旅―」が披露され、愛のあふれる心温まる舞台に、観客からは大きな拍手が送られました。終演後には、ハウスパラシュに金メダルが、県内の

出演者の中から20名には奨励賞が吉田泉芸文協会長より贈呈されました。なお、展示部門・文芸部門大賞受賞者、演示部門奨励賞受賞者は次のとおりです。

【大賞】受賞者(敬称略)

◎展示部門

(児童画) 福田 楓

(書) 岩瀬 愛美

(写真) 紅谷 実柚

(童画) 舟崎 弘美

◎文芸部門

(創作童話) 永森 乃絵

【演示部門奨励賞】

受賞者(敬称略)

(詩) 野村 妃希

(短歌) 野澤 侑夏

(俳句) 久津呂奈々

(川柳) 杉本 蒼空

牧江 梨桜 菅原 麻希

米屋 美里 山崎 凜子

宮川 理衣 石村 一花

三箇 晴美 三箇 美咲

広岡 阜 増山 千尋

澤野 令和 松村 芽依

高嶋 倫佳 今井 蒔優

江尻心乃花 片山 夏希

末次 葵衣 花木ゆらら

船木 彩衣 村井 花風



演示部門 (SOSEI ジュニアアンサンブル)



ベルギー・ハウスパラシュによる『アモール』―愛を探す小さな旅―

第63回理事会

平成29年度事業計画案を承認

一般社団法人富山県芸術文化協会の第63回理事会を平成28年12月14日(水)、ANAクラウンプラザホテル富山3階「鳳」において、車谷市朗県生活環境文化部長、清原明宏県生活環境文

化部文化振興課長を来賓に迎え、理事40名、参事25名、監事2名などが出席し開催しました。

平成29年度事業計画案と予算案の骨子に続いて、平成28年度事業経過報告が審議され、いずれも承認されました。



国際交流事業では、日韓友好交流事業、こどもバレエ遼寧省派遣事業、可西舞踊研究所チエコ・プラハ公演及び第16回モナコ世界演劇祭派遣事業、富山県・遼寧省友好「遼寧文化芸術週」2017をはじめ、ハンガリー・バラトン美術キャンプ派遣事業、ハンガリー・ハイドゥサーグ国際アートキャンプ派遣事業を行う予定です。

とやま舞台芸術祭2017は、高岡文化ホールで「モダンダンス・フロム・プラハ2017 カルミナ・プラーナ」を、利賀芸術公園の利賀大山房で「民踊公演」と「邦楽公演」の開催を予定しています。

また恒例の第23回富山県いけばな公募展、第66回富山県芸術祭、第42回富山県青少年美術展、第40回富山県こどもフェスティバル、芸術鑑賞、芸術文化指導者招へい事業をそれぞれ実施します。

この他、受託事業として、例年開催の県民芸術文化祭2017総合フェスティバル、県民ふれあい公演、中央通アートプロムナード及びほくぎんアートギャラリー、さらにはほくぎんアートプロムナード一番町を開催します。

共催事業としては、第72回富山県美術展、美の祭典 越中アートフェスタ2017を開催します。

とやま舞台芸術祭2016 富山県オペラ協会 第4回公演 安念千重子プロデュース 「オペラ公演『笠地蔵』〜大晦日の奇蹟〜」

平成28年12月4日(日)の午後2時より、富山県教育文化会館において、とやま舞台芸術祭2016 安念千重子プロデュース「オペラ公演『笠地蔵』〜大晦日の奇蹟〜」を上演しました。

2部構成からなる本公演は、第1部に「邦人作曲家の世界」と題し、4人の邦

人作曲家の歌曲を4人の歌手の皆さんが表現豊かに歌いあげました。

第2部の「オペラ公演『笠地蔵』〜大晦日の奇蹟〜」では、日本の昔話として馴染み深い「笠地蔵」を、今回は台本作者の中村敬一氏自身による演出と、作曲家の松井和彦氏自身による指揮で上演しました。



安念千重子プロデュース「オペラ公演『笠地蔵』〜大晦日の奇蹟〜」がナレーションを務め、県内外で活躍されている声楽家の皆さんや県オペラ協会合唱団の皆さんが出演した本公演は、とても親しみやすく、また、生き生きとした歌声は多くの観客を魅了しました。終演後観客からは「心が温かくなった」という声を多くお寄せいただきました。

美の祭典 越中アートフェスタ2016

平成28年11月19日(土)～23日(水・祝)まで富山県民会館美術館と展示室、ギャラリー、ロビーにて「美の祭典 越中アートフェスタ2016」を開催しました。

年齢やジャンルの垣根を取り払った平面と立体の2部門制の本美術展はサイズに制限がないことから、規則に捕らわれない、自由で多彩な作品が数多く寄せら



石井隆一県知事らによる開会式でのテープカット

れました。中には組み立てるのに時間を要するほどの大物作品もありました。

今回は平面部門で383点、立体部門で53点、合わせて436点の作品応募がありました。各ジャンルの審査員による厳正な審査の結果262点が入選し、一堂に展示しました。

平面部門は、藤木圭氏の「狭」が、立体部門は、佐野猛氏の「五角水指」が大賞を受賞し、県知事賞と北日本新聞社長賞などが贈られました。表彰式後には、受賞者によるクロストークが行われ、出品者は講評に真剣に耳を傾けていました。



受賞者クロストーク (立体部門)

また期間中には、学生によるアートマーケットや、子どものための絵画ワークショップ、「私のお気に入り」と題した入賞作品(佳作を除く)の人気投票など、多彩な交流事業も実施しま



受賞者クロストーク (平面部門)

した。絵画ワークショップでは、県内3つの保育園児と1つの幼稚園児らが「ゆかいな動物、ゆかいな仲間！」をテーマに、大谷弓子県児童美術研究会会長の指導のもと共同制作に励みました。ロビー上部の壁面には、県下の子どもたち約800人による動物たちの



子どものための絵画ワークショップ

絵が展示され、来場した児童が自分の描いた絵を探すなど、微笑ましい光景が見られました。

19日(土)～23日(水)までの5日間の本展には、11,885人が来場しました。また会期終了後、主な入賞作品は、富山県高岡文化ホール、北日本新聞社新川支社ギャラリー、北日本新聞社砺波支社ギャラリーを会場とした巡回展で平成28年12月15日(木)まで展示しました。

平成28年度 県民ふれあい公演



11月2日 富山市立大久保幼稚園



11月22日 富山市立榎尾小学校



11月28日 高岡市立こまどり支援学校



11月28日 学校法人高岡第一学園附属第三幼稚園



12月21日 社会福祉法人市野瀬福祉会戸出西部保育園

11月2日(水)に富山市立大久保幼稚園において大正琴と日本舞踊の公演を開催しました。大正琴公演では琴修会ラブ・ハープが「およげ!たいやきくん」や「365日の紙飛行機」などを演奏。演奏の途中に大正琴の楽器紹介もあり、園児たちは楽しそうに聞いていました。次の日本舞踊公演は、藤間寿栄仙社中、西川扇城緒社中、西川扇博社

中が「桃太郎」など4演目を披露。華やかで優美な舞に日本舞踊の奥床さを感じた。11月22日(火)は富山市立榎尾小学校において声楽と洋楽の公演を行いました。第一部の声楽公演では、ソプラノの長谷和美氏とピアノの小川麻衣氏が出演。オペラの名曲や「この道」、「カントリー・ロード」を表現力豊かに歌いあげ、生徒たち

ちは真剣に聴き入っていました。第二部の洋楽公演は、ハープトリオ花音(かのん)が出演し、「花のワルツ」から「越中おわら節、コキリコ節」まで様々なジャンルの曲をフルート、ヴァイオラ、ハープの美しい音色で演奏。最後に出演者全員で「花は咲く」と榎尾小学校の校歌を演奏し、生徒と一緒に歌いました。11月28日(月)に高岡市立こまどり支援学校と学校法人高岡第一学園附属第三幼稚園においてベルギーのハウズパラシュが演劇・人形劇

公演「『アモール』―愛を探す小さな旅―」を上演しました。ハウズパラシュは、彼らのパフォーマンズで障がい者と健常者との統合をも目指しており、心温まる公演になりました。また、色々な道具を使うなど演出や音響、照明にも工夫を凝らし見ごたえのある公演でした。公演後は大きな拍手が送られ、大成功で幕を閉じました。12月21日(水)の社会福祉法人市野瀬福祉会戸出西部保育園では、富山県立新湊高等学校吹奏楽部による吹奏

楽の演奏が行われました。「Xmas メドレー」の合唱から公演が始まり、トーンチャイム演奏があったりと、吹奏楽だけではなく演出にこだわった見えて楽しい演奏会になりました。とりわけ話題の「ピコ太郎のショー」や園児が大好きな「夢をかなえてドラえもん」では園児たちが一緒に歌ったり踊ったりして参加し、とても盛り上がりました。

平成28年度

芸術文化指導者招へい事業

(合唱・吹奏楽・オーケストラ・洋舞)

【合唱部門】

(宮丸勝プロデューサー)

11月26日(土)～27日(日)

ウイング・ウイング高岡

講師Ⅱ岩本達明先生

(合唱指揮者)

県内合唱団や一般の方々を対象とし、合唱の表現方法や発声方法を指導していただきました。



(合唱部門) 岩本達明先生

【吹奏楽部門】

(加納佑成プロデューサー)

12月3日(土)～4日(日)

高岡文化ホール、富山県民小劇場ORBIS

講師Ⅱ池田幸広先生

(チューバ奏者)

参加者は、チューバ奏法について池田先生から熱心なアドバイスを受け、演奏に磨きをかけました。



(吹奏楽部門) 池田幸広先生

【オーケストラ部門】

(小澤眞琴プロデューサー)

12月17日(土)～18日(日)

富山市民芸術創造センター

講師Ⅱ中村静香先生

(ヴァイオリン&ヴィオラ奏者)

弦楽器の演奏技術の指導を中心に、個人レッスンを等が行われました。参加者は真剣に練習に取り組み、スキルアップに励みました。



(オーケストラ部門) 中村静香先生

【洋舞部門】

(利田みさきプロデューサー)

12月27日(火)～28日(水)

富山市民芸術創造センター

講師Ⅱ佐藤万里絵先生

(洋舞家)

参加者は、佐藤先生の丁寧な指導からたくさんのお話を学び、今後のレッスンにつながる充実したワークシヨップとなりました。



(洋舞部門) 佐藤万里絵先生

もよおしの記録と案内

日本新工芸富山会展

2月1日(水)～2月7日(火)

富山大和5階アートサロン

びくめんぷろじえくと公演

VOI・15(金蘭寺)

2月18日(土)～2月19日(日)

富山県民小劇場ORBIS

平成28年度(公財)日本民謡協会

「民謡民舞富山県連合大会」

「民謡民舞少年少女大会」

3月19日(日)

砺波市文化会館

第42回 亜細亜現代美術富山支部展

4月1日(土)

富山県民会館美術館

宇波千神吟道五十年

富山千吟会創立四十五周年

記念吟道大会

6月18日(日)

富山県高岡文化ホール(大ホール)

草月三創会 白崎社中展

10月7日(土)～10月8日(日)

富山県高岡文化ホール(多目的小ホール)

訃報

民謡指導者で長年にわたる民謡の普及にご尽力された芸文協参事の佐藤久夫先生が平成28年12月11日にご逝去されました。

生前、富山県の芸術文化の振興と発展、また芸文協の諸事業に対して多大なご貢献をいただきましたことに、ここに深く感謝いたしますとともに、ご冥福を心からお祈りいたします。